

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-143165

(43)Date of publication of application : 02.06.1995

(51)Int.Cl.

H04L 12/54

H04L 12/58

(21)Application number : 05-177212

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 24.06.1993

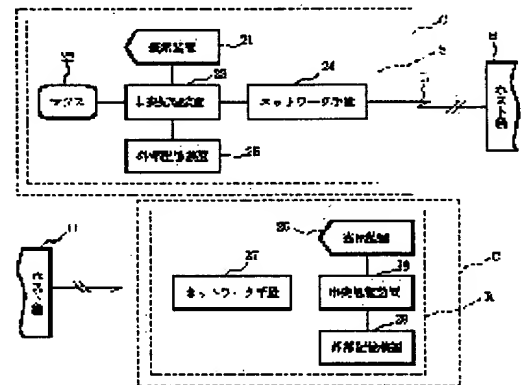
(72)Inventor : FUJIYOSHI HIROYUKI

(54) ELECTRONIC MAIL EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a mail equipment by which a sent mail is immediately read and displayed at a receiver side and a sent mail is easily sent/received according to various execution programs.

CONSTITUTION: In the electronic mail equipment in which plural slave sets C are connected to a host equipment H via a line L, an optional slave set C acts as a sender side terminal equipment and at least one of other slave sets C is selected as a receiver side terminal equipment to send an electronic mail, a central processing unit 23 of a transmission section S of the sender side slave set C is provided with a fetch means fetching data and execution program information and with a transmission means sending data and execution program information, and a reception section R of the receiver side slave set C is provided with a reception means receiving transmission data and execution program information and a read means retrieving a corresponding program based on the information of the received execution program and opening received data based on the retrieved program.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-143165

(43) 公開日 平成7年(1995)6月2日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 L 12/54

12/58

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

8732-5K

H 0 4 L 11/ 20

1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平5-177212

(22) 出願日 平成5年(1993)6月24日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 藤吉 博幸

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

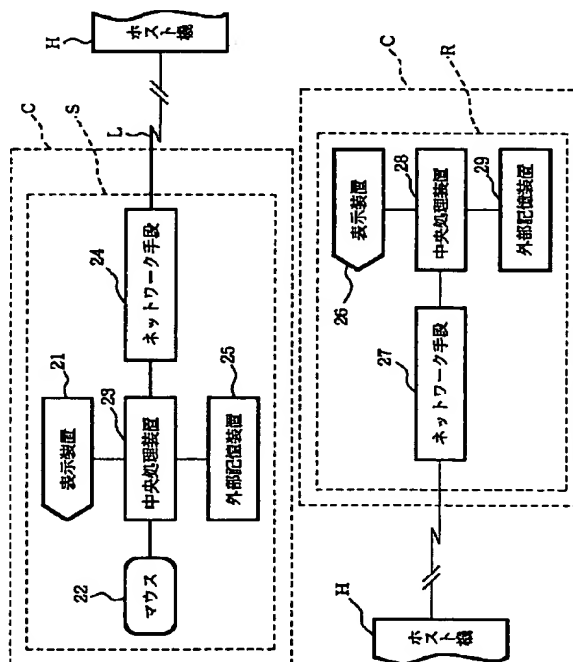
(74) 代理人 弁理士 渡部 敏彦

(54) 【発明の名称】 電子メール装置

(57) 【要約】

【目的】 送信されたメールが、受信側で直ちに読出し表示され、また、各種の実行プログラムにより送信されたメールの授受を簡単に行うことが可能な電子メール装置を提供する。

【構成】 ホスト機Hに回線Lを介して複数の子機Cが接続され、任意の子機Cが送信側端末装置として作動し、他の子機Cの少なくとも一つが受信側端末装置に選択され電子メールを送信する電子メール装置で、送信側の子機Cの送信部Sの中央処理装置23に、データと実行プログラム情報を取り込む取込手段、該データ及び該実行プログラム情報を送信する送信手段を設け、受信側の子機Cの受信部Rに、送信データと実行プログラム情報を受信する受信手段、受信した実行プログラムの情報に基づいて対応するプログラムを検索し、検索したプログラムによって受信データをオープンする読取手段が設けてある。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の端末装置が送信側及び受信側端末装置として電子メールの授受を行う電子メール装置において、

前記送信側端末装置には、データ及び該データの実行プログラム情報を取り込む取込手段と、取り込んだデータ及び該データの実行プログラム情報を前記受信側端末装置に対して送信する送信手段とが設けてあり、

前記受信側端末装置には、送信されたデータ及び該データの実行プログラム情報を受信する受信手段と、受信した実行プログラム情報に基づいて対応するプログラムを検索し、検索したプログラムを起動して、受信したデータをオープンする読取手段とが設けてあることを特徴とする電子メール装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、回線を介して接続された複数の端末装置間で電子メールの授受を行う電子メール装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の電子メール装置としては、ホスト機に回線を介して複数のパソコン或いはワークステーションからなる子機としての端末装置が接続され、ホスト機に各子機に対応するメールボックスを設置し、各子機にはそれぞれホスト機に対応するメールボックスを設け、これらの子機間で電子メールの授受を行う電子メール装置が、企業内通信や企業間通信の手段として採用されている。この電子メール装置による通信では、送信相手が特定されるので、送信情報の秘密が保持され、送信側および受信側のいずれも、それぞれ都合のよい時間にホスト機にアクセスしてメールの読み書きができ、時間を効率的に利用できるという特長がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の電子メール装置では、予め設定したデータ形式及び実行プログラムにより送受信が行われ、受信側では、データの解読のために該データ形式及び該実行プログラムに対応した読取り処理を行うことにより、受信したメールを解読することができる。従って、受信側でホスト機にアクセスして読取り処理を行わない限り、送信されたメールはメールボックスに収容された状態のままにされ読み取られることがない。このために、緊急を要するメッセージのメールが送信されても、受信側が多忙等により読取り処理を行わないと、メールが読み取られないまま放置されるという問題がある。

【0004】 また、予め設定したデータ形式及び実行プログラムによらない送信が行われると、受信側では、送信されたデータ形式及び実行プログラムの通報を受け、対応する実行プログラムを検索して読取り処理を行なうことにより、始めてデータを読み取ることができ、読取

りまでの処理が煩雑であり、データの読取に時間がかかることになる。

【0005】 本発明は、前述した電子メール装置の現状に鑑みてなされたものであり、その目的は、送信されたメールが受信側で直ちに読出し表示され、また、各種の実行プログラムにより送信されたメールの授受を簡単に行うことが可能な電子メール装置を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するために、本発明は、複数の端末装置が送信側及び受信側端末装置として電子メールの授受を行う電子メール装置において、前記送信側端末装置には、データ及び該データの実行プログラム情報を取り込む取込手段と、取り込んだデータ及び該データの実行プログラム情報を前記受信側端末装置に対して送信する送信手段とが設けてあり、前記受信側端末装置には、送信されたデータ及び該データの実行プログラム情報を受信する受信手段と、受信した実行プログラム情報に基づいて対応するプログラムを検索し、検索したプログラムを起動して、受信したデータをオープンする読取手段とが設けてあることを特徴とする。

【0007】

【作用】 上記の構成により、送信側端末装置（子機）の取込手段によって、データ及び該データの実行プログラム情報が取込まれ、取り込まれたデータ及び該データの実行プログラム情報が、送信側端末装置の送信手段によりホスト機に回線を介して送信側端末装置により指定された受信側端末装置（子機）のメールボックスに送信される。

【0008】 指定された受信側端末装置では、受信手段によりデータ及び該データの実行プログラムの情報を回線を介して受信し、読取手段によって、受信した実行プログラムの情報に基づいて対応するプログラムが検索され、検索されたプログラムが起動されて、受信したデータがオープンされ、データの読取りが行われる。

【0009】

【実施例】 以下、本発明の実施例を、図 1 乃至図 3 を参照して説明する。図 1 は本発明の一実施例の構成を示すブロック図、図 2 は送信側装置の表示装置のウィンドウ画面を示す図、図 3 は本実施例の送信データ群のフォーマットを示す図、図 4 は実施例の動作を示すフローチャートである。

【0010】 本実施例に係る電子メール装置は、図 1 に示すように、ホスト機 H に回線 L を介して複数のマイコンが子機 C として接続してあり、ホスト機 H には各子機 C のメールボックス（図示せず）が設置してあり、各子機 C には、それぞれ対応するメールボックス（図示せず）が設けてある（図 1 では 2 個の子機 C のみが示されている）。そして、任意の子機 C が送信側端末装置とし

て作動し、他の子機Cの少なくとも一つを受信側端末装置に指定して、送信側端末装置となる子機Cから受信側端末装置となる子機Cに、ホスト機を介して電子メールが送信されるようにされている。

【0011】図1において、Sは、送信側端末装置として動作する子機Cの送信動作を行う送信部で、この送信部Sは、各種の送信動作情報が格納されるメモリを備え、全体の動作を制御する中央処理装置23に対して、入力処理を行うマウス22、各種のデータ及び実行プログラムが格納される外部記憶装置25、回線Lとの入出力動作を行うネットワーク手段24及び各種の送信動作情報が表示される表示装置21が接続され、ネットワーク手段24が、回線Lを介してホスト機Hに接続された構成になっている。

【0012】そして、本実施例では、中央処理装置23に、データ及び該データの実行プログラム情報を外部記憶装置25から取り込む取込手段と、取り込んだデータ及び該データの実行プログラムの情報を所定のフォーマットに編集して、ネットワーク手段24により送信する送信手段とが設けてある。

【0013】また、図1において、Rは、送信先に選択され、受信側端末装置として動作する子機Cの受信動作を行う受信部で、この受信部Rは、各種の受信動作情報が格納されるメモリを備え、全体の動作を制御する中央処理装置28に対して、回線Lとの入出力動作を行うネットワーク手段27、各種のプログラム及び受信データが格納される外部記憶装置29及びデータや各種の受信情報が表示される表示装置26が接続され、ネットワーク手段27が、回線Lを介してホスト機Hに接続された構成になっている。

【0014】そして、本実施例では、中央処理装置28に、送信されたデータ及び該データの実行プログラムの情報を受信する受信手段と、受信した実行プログラム情報に基づいて外部記憶装置29から対応するプログラムを検索し、検索したプログラムによって受信したデータをオープンする読取手段とが設けてある。

【0015】また、本実施例において、送信側端末装置となる子機Cから受信側端末装置となる子機Cに送信されるデータ群は、図3に示すフォーマット41に構成されていて、データ群の先頭から、送信先ユーザID、送信元ユーザID、アプリケーション名などを示すプログラム情報及びデータの順に配列してある。

【0016】次に、このような構成の本実施例の動作を、図4のフローチャートを参照して説明する。

【0017】まず、送信側端末装置となる子機Cの動作を説明すると、キーボードとマウス22を操作して、表示装置21の表示面のウインドウ31に、図2に示すように、電子メールのメールシステムのアイコン32と、所定のアプリケーションを示すアイコン33とを表示させる。そして、マウス22を使用して、ウインドウ31

内のアイコン33をアイコン32へドロップすると、アイコン32のメールシステムで送信側端末装置の動作が開始される。そして、ステップS11で、中央処理装置23の取込手段が作動し、外部記憶装置25からアイコン33を介して実行プログラム情報と、該実行プログラムがオープンしているデータのデータ情報とが取り込まれ、中央処理装置23のメモリに格納される。この実行プログラム情報には、実行プログラム名や起動パラメータが含まれ、データ情報には、データの格納アドレスが含まれている。

【0018】次いで、ステップS12に進んで、中央処理装置23の取込手段によって、外部記憶装置25から前記データ情報に対応するデータが読み出され、中央処理装置25のメモリに格納される。そして、ステップS13において、キーボードの操作で入力される送信先メールアドレスと送信元メールアドレスとが、中央処理装置25の取込手段により取込まれ、中央処理装置25のメモリに格納される。

【0019】ステップS13からステップS14に進んで、中央処理装置25の送信手段によつて、中央処理装置25のメモリから、データ、実行プログラム情報、送信先メールアドレス及び送信元メールアドレスが読み出され、これらの情報が、図3に示すフォーマット41に編集され、ネットワーク手段24から、回線Lを介してホスト機Hに送信される。

【0020】このようにして、送信側端末装置となる子機Cから、データ、実行プログラム情報、送信先メールアドレス及び送信元メールアドレスがホスト機Hに送信されると、ホスト機Hは、送信先メールアドレスから該送信先のメールボックスを確認し、回線Lを介して指定された送信先アドレスの子機Cにこれらの情報を送信する。

【0021】受信側端末装置となる子機Cは、ネットワーク手段27を介して、ホスト機Hからデータ、実行プログラム情報、送信先メールアドレス及び送信元メールアドレスを受信すると動作状態となる。そして、ステップS15で、中央処理装置28の受信手段によって、フォーマット41で受信したデータ群からデータと実行プログラム情報とが中央処理装置28のメモリに格納され、ステップS16に進んで、中央処理装置28のメモリに格納されたデータが読み出されて外部記憶装置29に格納される。

【0022】次いで、ステップS17に進んで、中央処理装置28の読取手段によつて、メモリに格納されている実行プログラム情報が読み出され、該実行プログラム情報に対応する実行プログラムが外部記憶装置29から検索され、得られた実行プログラムによる起動が行われる。そして、ステップS18で起動が正常に行われたことが確認されると、ステップS19に進んで、外部記憶装置29から読み出された受信データが該実行プログラ

ムによってオープンされ、表示装置 26 に表示される。
ステップ S 18 で正常な起動が行われない場合には、そのまま処理を終了する。

【0023】本実施例では、送信側端末装置となる子機 C において、アイコン 33 のアイコン 32 へのドロップ操作後に、データが外部記憶装置 25 から読み出されたが、該ドロップ操作のタイミングで、外部記憶装置 25 からデータが直接メールシステムに渡されるようにすることも可能である。また、本実施例では、データが子機 C のアプリケーションから起動されるが、回線に設けたサーバにアプリケーションを登録して置き、該サーバ上のアプリケーションからデータを起動させるようにすることも可能である。

【0024】このようにして、本実施例によると、送信側端末装置となる子機 C から、受信側端末装置となる子機 C に、データ、実行プログラム情報、送信先メールアドレス及び送信元メールアドレスが送信されると、受信側端末装置の受信手段によってデータが外部記憶装置 29 に格納され、読取手段によって受信した実行プログラム情報に対応する実行プログラムが外部記憶装置 29 から検索される。そして、受信側端末装置の読取手段によって検索された実行プログラムによりオープンされた受信データが表示装置 26 に表示される。従って、送信側端末装置から送信される電子メールは、受信側端末装置で受信されると、直ちにデータが表示装置 26 に表示され、従来のように受信側端末装置のホスト機へのアクセスが不要になるので、送信データが読み取られない事態はなくなり、電子メールの送受信がスムーズに行われる。

【0025】また、各種のプログラムを外部装置に格納して置くことにより、メールシステムを変更した場合の電子メールの送信及び受信が何らの煩雑な処理を要せずにスムーズに行われる。

【0026】なお、本実施例では送信側装置となる子機 *

* から、受信側子機に選択された一つの子機に電子メールの送信が行われる場合を説明したが、本発明は実施例に限定されるものでなく、一般には、同時に複数の子機を受信側子機に選択することが可能である。

【0027】

【発明の効果】本発明によると、送信側端末装置によって、データ及び該データの実行プログラムの情報が受信側端末装置に送信されると、受信側端末装置では受信した実行プログラムの情報に基づいて対応するプログラムを検索し、検索したプログラムの起動によって受信したデータがオープンされ表示装置に表示されるので、受信側装置でのホスト機へのアクセスが不要になり、送信データは直ちに表示され、電子メールの送受信が何らの煩雑な処理を要せずにスムーズに行われる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図 2】送信側端末装置の表示装置のウインドウ画面を示す図である。

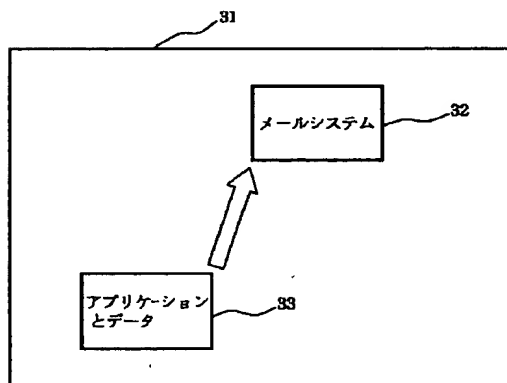
【図 3】送信データ群のフォーマットを示す図である。

【図 4】本実施例の動作を示すフローチャートである。

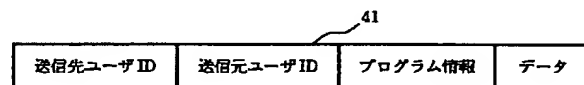
【符号の説明】

- 21 表示装置
- 23 中央処理装置
- 24 ネットワーク手段
- 25 外部記憶装置
- 26 表示装置
- 27 ネットワーク手段
- 28 中央処理装置
- 29 外部記憶装置
- 32、33 アイコン
- S 送信部
- R 受信部

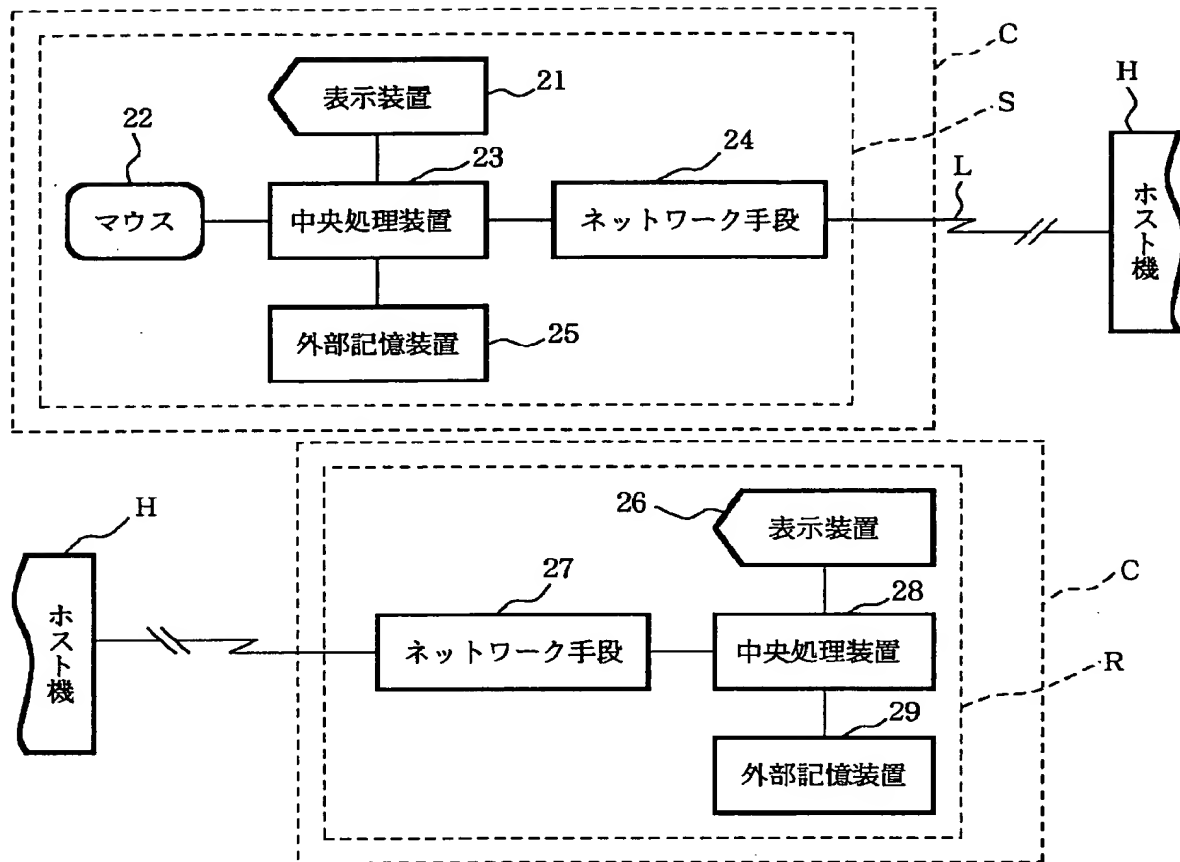
【図 2】



【図 3】



【図 1】



【図4】

